

2022年西日本地区日中国交正常化50周年慶祝大会に参加して

田中栄子

2022年9月25日(日)に岡山プラザホテル 鶴鳴の間にて、「2022年西日本地区日中国交正常化50周年慶祝大会」が開催されました。

ももとの開催日は9月18日(月)の予定でしたが、台風接近のために延期になり、この日になりました。

当日は、とても盛大な会となり、ステージでの演奏や演武やおいしい料理、2部の映画、抽選会など、とても楽しい時間を過ごすことができました。

ホテルの大宴会場でのパーティに参加するなど、何年ぶりでしょう。

(たぶん?周年記念の会社の社員総会以来)

雰囲気はちょっと圧倒されながら席に着きました。

(受付係をしていたため、途中入場になりました)

中国駐大阪総領事館の副総領事の中国語の挨拶を聞きながら、通訳なしで聞き取れたらいいのにとったり、日中友好に貢献した先人についての講演や表彰を聞きながら、知らないことが多くて勉強しなきゃと思ったりしました。

それから、ステージの演奏、演武が始まりました。

料理が順次テーブルに供されて、食欲が優先してしまい、写真を撮り忘れてしまいました。

小川さんの演武になったときは、動画と写真を撮りながら、舞台に釘付けになりました。

第二部は、第一部の演武の再演と少し前の中国からの留学生のドキュメンタリー映画でした。時代背景が古いため、現在の留学生の状況とは違う部分も多いのかなと思いましたが、日本で勉強するために奮闘する姿に少しうつつしてしまいました。

この大会が開催する前、小川さんがこの大会のステージでの太極拳を演武することがきっかけで、準備会議と一緒に参加することになりました。その中で、いろいろな意見や議論が飛び交う光景にびっくりしたり、大会内容もいろいろと修正されているの見て、主催側の大変さを垣間見ることになりました。

この体験は私にとってはとても貴重であり、今後の友好活動について活かすことができたらと思いました。

まとまりのない感想となってしまいましたが、最後に、私を含め、日中友好協会 岡山支部、倉敷支部合わせて、10人という大所帯で、この大会に参加できたことが一番よかったと思います。



小川さんの太極拳演



開幕を飾った獅子舞



先日亡くなられた岡山支部の小林軍治さんが功労者として中国駐大阪総領事館から表彰されました。写真は小林さんに代わって賞状を受け取る真田岡山支部長です。

日中
お
か
や
ま

題字 萩原田 親

No. 983

2022/10/15

日
中
友
好
新
聞

発行所
日本中国友好協会
〒511-0953
東京都台東区浅草橋2-2-3
約町7-5 5階
電話 03(5839)2149(TEL)
FAX 03(5839)2141
http://www.jcf-jcfr.jp
E-mail: jcf@jcf.jp
TEL: 00119-1-21176

日中友好協会
岡山支部
〒705-0034
岡山市北区下伊福
西町1-59 民生会館1F
TEL: FAX 0861258-8806

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8031
倉敷市福江町東22461-41
TEL: FAX 0861411-7800

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.jinaa.net/
メールアドレス
nicchukayama@yahoo.co.jp



「私と日中」倉敷支部副理事長 大本芳子

姉妹都市調印式に参加して③

南京大虐殺があつたのは1937年12月。私が生まれる半年前です。南京へと攻め向かう日本軍は、この鎮江市を通過しています。

鎮江市は、南京まであと60Kという地点です。日本軍が荒れに荒れていた時だということです。十分考えられます。そのころこの鎮江市は「と考えると、頭からスーと血が降りるような冷気を感じました。

私の父はこの戦に参加しています。この時の父の階級は、軍曹だと聞いています。今私はその地に来ています。侵略・横暴の数々ごめんなさい、ごめんなさい」私は心の中で詫び続けました。そんな私の思いをかき消すかのようにバスは、記念祝賀会の行われるホテルへと急ぎます。

友好を深めた鎮江市人民政府招待の祝賀会

鎮江市政府による招待会は6時定刻に始まりました。私のテーブルは、私が共産党員だということで大いに盛り上がりました。党歴何年か？」30年(当時)「乾杯！乾杯！と一番賑やかなテーブルでした。

自分が目指す人にグラスを向け、声を出して「カンペイ」一気に飲み干します。指名された人もグラスを飲み干し、最後にきれいに飲みましたよ」と相手にグラスの底を見せる。それが礼儀だそうです。私は大勢の方から乾杯を申し込まれました。とにかく鎮江市の幹部は若いし、よく飲みます。飲むとても賑やかです。

中国共産党は、党員になるのが大変難しいということ。党員候補期間が長期間あり、この間いろいろ試されること。今は昔と違って党

員への条件は、まず性格が明るく、対外関係が上手にこなせる人、が最優先だそうです。

また、こんな話も聞きました。人民対外友好協会の李さんは、自分が子どもの頃、やんちゃを言ったりしたりすると、祖母から「日本軍来るよ！」とよく言われたことなど、話してくれました。

その当時中国では、恐ろしいもの、怖いもの代表が「日本軍」だったのです。子どもが泣き止まず、いつまでも泣いていたりすると、日本では、「子取りが来るよ」お巡りさんが来るよ」のところが、中国では日本軍です。いかに日本軍が恐れられていたか・・・まさに泣く子も止まる日本軍です。

私たちはまるで10年来の知己のように、時間たつのも忘れて語り合いました。国は違っても、お互い共産党という絆で結ばれていたのだと思います。まさにインターナショナルです。私は、会話の端々から建設を目指す若い中国の息吹のようなものを感じました。

そのことは、会見式や祝賀会などでのスピーチにはつきり出ていました。倉敷市が鎮江市の歴史や文化を讃えているのに対し、鎮江市側は、水島コンビナート等の技術や経済力を評価し、スピーチの終わりには必ず、倉敷市に対する大きな期待が語られました。

日本と中国との架け橋(日中友好)に貢献♪
ちょうど、この年(1997年)は、日中国交正常化25周年の年でした。倉敷市と鎮江市とが友好都市縁組を締結することにより、両市はもとより、日中両国の友好関係の発展にとつても大変喜ばしいことでした。3日間というあわただしいスケジュールの中でしたが、私の人生に大きな影響を与えた初めての中国の旅でした。

おわり

中国人留学生との交流会

小川涼子

中国人留学生との交流会が、10月2日の午後2時から京山公民館であり、13人参加しました。今回お話をしてくれたのは、中国語講座の先生をしてきている劉樊艶さんでした。

交流会は参加者全員が順番に、中国の好きか嫌いなど興味やあることを伝え、劉さんがそれに答える形で進みました。

参加者それぞれの興味があるところが異なるため、話は多岐にわたりましたが、劉さんはそのどれに対しても丁寧に答えてくれました。



中国語講座老師 劉樊艶さん

今後の日程

- 10月11日(火) 日中友好新聞発送作業 10:30~ 民主会館
- 10月15日(土) 倉敷国際ふれあい広場準備 11:00~12:30 倉敷芸文館
- 10月16日(日) 倉敷国際ふれあい広場 10:00~16:00 倉敷芸文館
- 10月24日(月) 井笠支部準備会 14:00~16:00 井原市出部公民館
- 10月25日(火) 倉敷支部理事会 13:30~16:00 新田事務所
- 11月3日(木) 日中国交正常化50周年記念講演会 14:00~16:30 井原市出部公民館

次回の新聞発送作業は
10月27日(木)午前10時半か
ら

民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方
です。

木井内井
清河竹坪